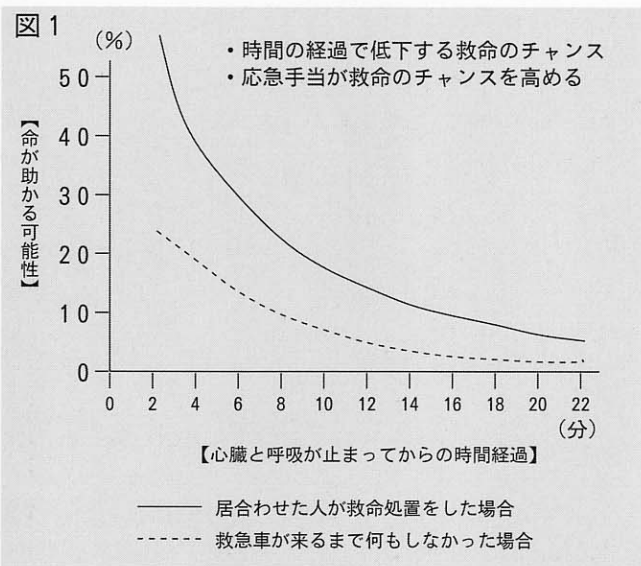


ひとりでも多くの命を救うために

知っていますか? 「AED」の使い方

AEDとは、「自動体外式除細動器」のことで、心臓がブルブルと細かくふるえる「心室細動」によって、突然に心臓が停止したとき、電気ショックが必要かどうかを判断することができ、必要があれば電気ショックを与えてもとの正常な心臓の動きを取り戻すために使う機械です。



どうしてAEDが必要なの? 「突然心臓が止まってしまふ」このような状態になった人の多くは「心室細動」によって起こっていると言われています。「心室細動」とは、心臓が小刻みに震えて全身に血液を送ることができない状態のことです。このような状態でそのまま放置しておくと、助かるチャンスはほとんど失われてしまい、図1のように、10分以上が経過すると、命が助かる確立はほとんどほとんどなくなってしまうのです。このような状態を取り除き、もとの正常な心臓の動きを取り戻す方法の一つに、電気ショック(除細動)があります。目の前で突然人が倒れてしまった時、すぐに救急車を呼ぶことが最も重要なことです。しかし、それだけでは十分とは言えません。全国平均でも救急車が到着するまでには6分

間以上がかかると言われています。AEDがあれば、いち早く救命処置を行うことができ、その人の命が助かる可能性があるので。何の心構えもなく、AEDが必要な場面に遭遇したら誰でも戸惑ってしまうのは当然ですが、人の命を救う手助けになりますので、勇気をもってAEDを使いましょう。

AEDは誰でも使えるの?

AEDは、電気ショックを与える救命行為が簡単にできるようなつくりられています。コンピューターによって自動的に心室細動かどうかを調べて、電気ショックが必要かどうかを判断し、音声メッセージで指示してくれますので、誰にでも簡単に操作できます。しかし、正しく使用するためにはその使い方を知らなくては効果的に使うことが

- 町内のAEDの設置状況
- 滝上小学校
 - 濁川小学校
 - 白鳥小学校
 - 滝西小学校
 - 滝上中学校
 - 滝上高等学校
 - スポーツセンター
 - 基幹集落センター
 - 溪樹園
 - リハビリセンター

できます。滝上支署では、AEDの使い方などを始め、心肺蘇生法の救命講習を行っています。各グループ・団体などで希望する場合は、お気軽にご相談ください。

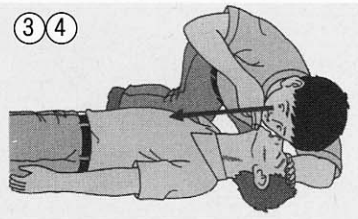
◇問い合わせ先
紋別地区消防組合消防署滝上支署 救急係

☎ 29-2049

救命処置の流れ（心肺蘇生法とAEDの使用）

※まず、あなたの安全を守ってください。安全な場所ならば、患者の血液等に
触れないよう、ゴム手袋やビニール袋などを使用してください。

「あなたは119番へ通報
してください!!!」
「あなたはAEDを持って
きてください!!!」



③④

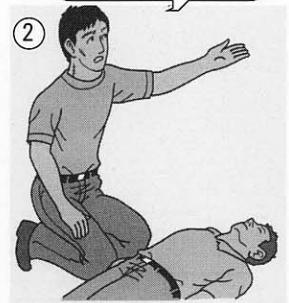
(呼吸の有無を確認する)

①反応を確認する
(「大丈夫ですか?」と声をかけ肩をたたく)

▼ [反応なし]

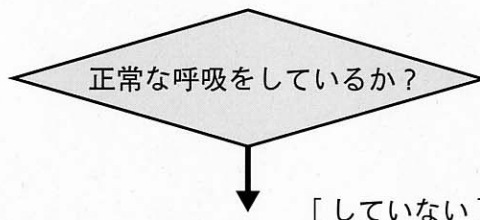
②助けを呼ぶ
(119番通報とAEDの手配)

③気道の確保 と ④呼吸の確認



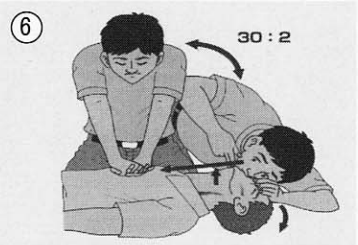
②

(119番通報とAEDの手配)



→ 様子を見守る
[している]

▼ [していない]



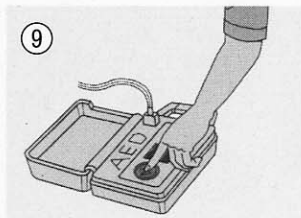
⑥

30:2

(胸部圧迫と人工呼吸の組み合わせ)

⑤人工呼吸 2 回 (省略可能)

⑥胸骨圧迫30回と人工呼吸 2 回の組み合わせを繰り返す
圧迫は強く、速く (毎分約100回のテンポ)、絶え間なく
圧迫解除は胸がしっかりもどるまで



⑨

(ショックボタンを押す)

⑦AED到着
電源を入れる。電極パットを装着する。



⑧

(音声メッセージに従い離れる)

⑧心電図の解析
電気ショックの必要か?

[必要あり]

[必要なし]

⑨電気ショック 1 回
⑩その後ただちに胸骨圧迫と
人工呼吸を再開
5サイクル(2分間)



(ただちに胸骨圧迫の再開)

⑩その後ただちに胸骨圧迫と
人工呼吸を再開
5サイクル(2分間)

※イラストは、(財) 救急振興財団発行の「改訂 3 版応急手当講習テキスト」から引用しています。

9月9日は救急の日

救急の日とは昭和 5 7 年に救急業務・救急医療について理解を
深めていただくために定められました。